

## とんこう地域フォーラム 開催！

こんにちは。SSH推進委員会です。No.16となる今回は、3/4(金)、3/5(土)の2日間で行われた『とんこう地域フォーラム』の内容を1日目、2日目に分けて紹介します。これまで探究の時間に進めてきたそれぞれの研究を、学年を越えて、また地域の方々と一緒に発表・共有しました！今年行ってきた探究活動の集大成の発表とあって、どの班も完成度がとても高かったです。

### とんこう地域フォーラム 1日目

とんこう地域フォーラムの1日目は中学3年生、高校1年生と2年生の4つの代表班による発表、そしてパネリストを招いてのパネルディスカッションを行いました。

各代表班の研究テーマは

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| <b>中学3年生</b>            | 「健康にコミットする大豆ミート」        |
| <b>高校1年生</b>            | 「なぜ藻類が大量発生するのか」         |
| <b>高校2年生（人文・社会科学探究）</b> | 「地域への貢献～SDGs 未来都市・富田林市」 |
| <b>高校2年生（自然科学探究）</b>    | 「なぜマミスクラゲはフラストシを形成するのか」 |

と様々でした。今年は理系的テーマだけではなく、文系的なテーマの研究も発表してもらいました。どの代表班も身近な問題意識からテーマを設定し、実験やフィールドワークなどを経て説得力のある結論・提案を示してくれました。

続くパネルディスカッションではNPO まなそだネットの小川力也先生を司会として、大阪国際大学の笠井敏光教授・大阪大谷大学の岡島克樹教授・南山大学の高橋亜希子教授をそれぞれパネリストとしてお招きし、各代表班の生徒も交えながら「探究の進め方」をテーマに意見交換しました。

「探究Ⅱで研究ができてよかった」「仲間と一緒にだからこそ探究を進めるモチベーションになった」など生徒の皆さんの探究に対する思いや、「テーマ決めは身近なところから決めるのがポイント」「探究を進めるにあたって当事者意識が大切だと思った」など、これから探究を進める際にヒントとなる言葉がたくさんありました。



**堂々と発表できていてとてもよかったと思います！！**

**来年は自分が発表できるように今後の探究活動も頑張っていきましょう！**

## とんこう地域フォーラム 2日目

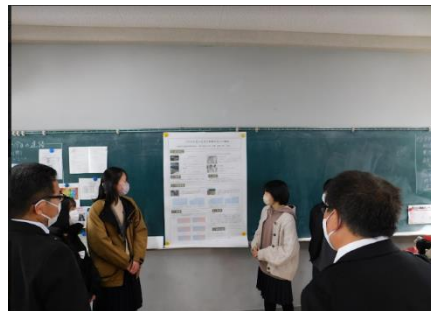
3月5日(土)にとんこう地域フォーラムの2日目が開催されました。

**中学1年生6グループ、中学2年生6グループ、中学3年生24グループ、  
高校1年生「人文・社会科学探究」25グループ、「自然科学探究」29グループ、「国際探究」6グループ、  
高校2年生「人文・社会科学探究」6グループ、「自然科学探究」13グループ  
科学部 7グループ**

合計**122グループ**が前半、後半に分かれ発表を行いました。

ポスター、タブレット、PCなど発表の媒体は様々でした。それぞれが1年間取り組んできたテーマについて、実験や調査の過程から自分たちで出した結論まで、とても分かりやすく伝えていました。

理系的なテーマ、文系的なテーマとたくさんの発表があり、とても見ごたえのある発表会となりました。質疑応答も活発に行われ、自分たちなりの考えを堂々と発言できている様子はとても印象的でした。



地域からも**18の企業・団体・大学**などをお招きし、体育館の各ブースで発表・説明をしてもらいました。体験コーナーもあり、どのブースも大盛況でした！

